

# 事業評価シート（平成23年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	公立保育所施設整備事業		
事業担当	健康・こども部 こども家庭課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心できる生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	入所児童	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】【協働：		
	目的・目標	事業の概要	
	公立保育所の改修、修繕等により、入所児童の生活環境などが改善されています。	児童の安全や保育環境向上のため、老朽化した保育園園舎の改修や小規模修繕などを実施します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	入所児童の生活環境等の改善が図られた保育所数			単位	園
	説明・算定式	改修・修繕等の工事に対する保護者への説明を行った保育所数				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	10	10	10	10	
	実績	10	10	10		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	予定した改善等が図られた箇所数			単位	か所
	説明・算定式	入所児童の生活環境等の改善が図れた保育所数				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	10	10	10	10	
	実績	10	10	10		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成23年度の主な取組と成果						
施設の適切な維持管理により、児童の安全や保育環境の向上を図りました。						
平成23年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	核家族化の進行、女性の社会進出の増大と就労形態の多様化などにより、保育ニーズが高まっていることから、必要性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	入所児童の生活環境等の改善を行うことで満足度が高まり、有効性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	入所児童の生活環境等の改善に必要な修繕は、事業の目的を達成するためには妥当性が高いと思われます。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	経年老朽化による修繕等が見込まれますが、保育施設の安全性の確保を効率的に行う必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		入所児童の増加や、施設の経年老朽化による修繕等が必要とされています。		

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		耐震診断(神田、金田、南原、吉沢)各園補修	直接給水改修(1園)などの各園補修の実施	保育室床補修(1園)などの各園補修の実施	遊具改修(2園)等の各園補修の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	235	0	5,113	0
	一般財源	35,528	14,622	8,462	8,430
事業費 (A)		35,763	14,622	13,575	8,430
執行率 (%)		96.56	95.63	99.98	
内訳	職員 (人)	1.58	1.65	1.75	1.65
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		13,203	13,628	14,182	13,225
フルコスト (A+B)		48,966	28,250	27,757	21,655

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	児童の安全や保育環境向上のため、引き続き老朽化した施設や設備の改修を実施します。
課長コメント	入所児童の生活環境の改善と安全性の確保のため経年老朽化した施設、備品について早急な修繕を実施します。